

14日以内に検査の読影レポート確認を促すための 8日後院内メールの有効性

飛田 正敏^{1,2)} 内谷 隆之¹⁾ 磯和 理貴^{3,4)} 繁浪 幸代¹⁾
 福田 成美¹⁾ 永見由里子¹⁾ 加村 菜月¹⁾ 長田 藍¹⁾
 若山 聡雄^{1,5)} 小阪 真二⁶⁾

概 要：検査の読影レポートの確認を促す院内メールを検査8日後に送ることで、14日以内の未読率がどの程度低下するのかを調査した。対象は2018年5月24日から2020年1月31日までに行われた検査の読影レポート74,173通である。これを、8日後メールを送るまでの前群(33,011通)と、送り始めてからの後群(41,162通)に分けて検査14日後時点での未読率を比較した。全体の未読率は前群の24.9%から後群は6.0%と低下した。消化管検査では変わらなかったが、画像全体では28.9%→6.8%、組織診では5.8%→2.2%、細胞診では19.0%→4.4%と有意に低下した。消化管検査で未読率が変わらなかったのは消化器科医師自ら診断するためと思われる。それ以外の読影レポートでは、検査8日後に未読メールを送ることは14日以内の未読率を低下させるのに有効であった。

索引用語：未読レポート，未読率，医療安全

Utility of intra-hospital e-mail 8 days after examination to urge to confirm the image reports within 14 days.

Masatoshi TOBITA^{1,2)} Takayuki NAITANI¹⁾ Noritaka ISOWA^{3,4)}
 Sachiyo SHIGENAMI¹⁾ Narumi FUKUDA¹⁾ Yuriko NAGAMI¹⁾
 Natsuki KAMURA¹⁾ Ai OSADA¹⁾ Toshio WAKAYAMA^{1,5)}
 and Shinji KOSAKA⁶⁾

Key words : unchecked report, unchecked rate, medical safety

【緒 言】

近年、検査の読影レポートの未確認によりレポートで指摘された所見が見逃される事案が問題となっており、当院でも2018年5月より対応に取り組んでいる。当院では検査後14日以内に主治医がレポートを確認することを目標としており、14日後に検査を依頼し

た医師に院内メールを送って読影レポートの確認を促してきたが未読率は高かった。

今回、検査8日後に院内メールを送ることで検査後14日以内の未読率がどの程度低下するのかを調査した。

1) 島根県立中央病院 情報システム管理室
 2) 島根県立中央病院 整形外科
 3) 島根県立中央病院 医療安全推進室
 4) 島根県立中央病院 呼吸器外科
 5) 島根県立中央病院 血液腫瘍科
 6) 島根県立中央病院 病院長

1) Shimane Prefectural Central Hospital Information Systems Management Office
 2) Department of Orthopaedic Surgery
 3) Safety and Quality Management Office
 4) Department of Respiratory Surgery
 5) Department of Hematology and Oncology
 6) Director of Shimane Prefectural Central Hospital

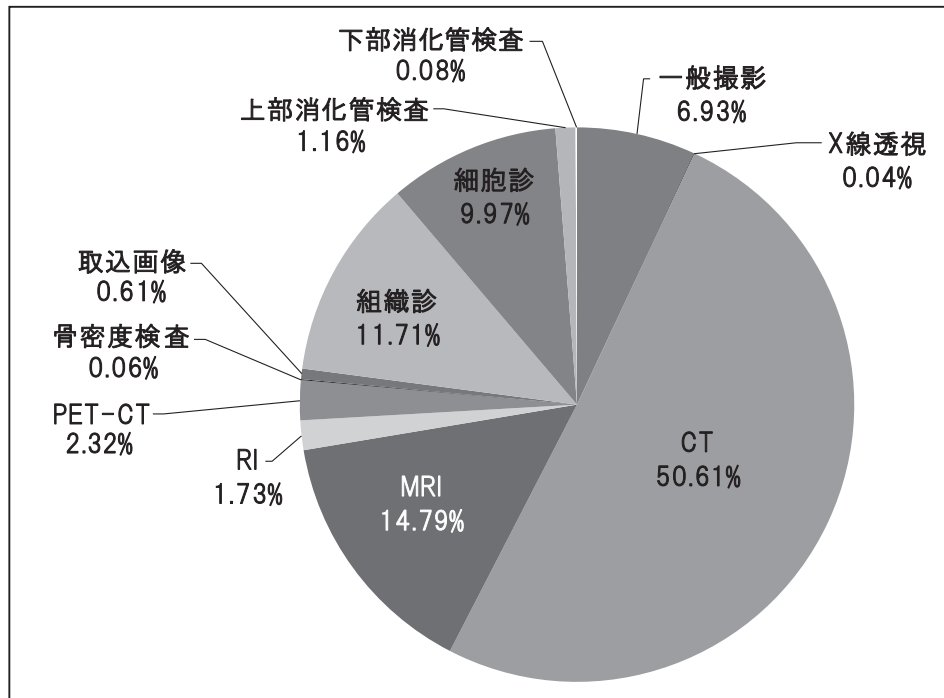


図1 レポート数の内訳

【対象と方法】

対象は2018年5月24日から2020年1月31日までに
行われた検査の読影レポート74,173通である。内訳は
一般撮影が5,142通(6.93%)、X線透視撮影が27通
(0.04%)、CTが37,539通(50.61%)、MRIが10,969通
(14.79%)、RIが1,280通(1.73%)、PET-CTが1,718
通(2.32%)、骨密度検査が42通(0.06%)、取込画像
が455通(0.61%)、組織診が8,682通(11.71%)、細胞
診が7,394通(9.97%)、上部消化管検査が863通
(1.16%)、下部消化管検査が62通(0.08%)であった
(図1)。これを、8日後メールを送るまでの群(以下、
前群)(33,011通)と、2019年2月25日以降、メールを
送り始めてからの群(以下、後群)(41,162通)に分け
て検査14日後時点での未読率を比較した。統計学的
評価には χ^2 検定を用い、p値が0.01未満のものを有意
差ありとした。

【結 果】

全体の未読率は前群の24.9%(8,204/33,011通)か
ら後群では6.0%(2,473/41,162通)となり有意に低
下した($p<0.01$)。画像検査を項目別にみると、一
般撮影では前群11.0%(267/2,436通)から後群0.2%
(6/2,706通)、CTでは前群32.6%(5,337/16,360通)か

ら後群7.7%(1,631/21,179通)、MRIでは前群30.4%
(1,458/4,800通)から後群7.9%(486/6,169通)、RIで
は前群14.3%(85/596通)から後群3.4%(23/684通)、
PET-CTでは前群3.1%(22/703通)から後群0.9%
(9/1,015通)、取込画像では前群38.2%(129/338通)
から後群5.1%(6/117通)、いずれも有意に低下して
いた($p<0.01$)。X線透視撮影(前群15通、後群12
通)、骨密度検査(前群28通、後群14通)では前群、
後群ともに未読はなかった。画像全体でも前群28.9%
(7,301/25,276通)から後群では6.8%(2,161/31,896通)
となり、有意に低下していた($p<0.01$)。

画像検査以外を項目別にみると、組織診では前群
5.8%(224/3,872通)から後群2.2%(105/4,810通)、
細胞診では前群19.0%(650/3,418通)から後群4.4%
(174/3,976通)と、未読率が有意に改善していた(p
 <0.0001)。一方で、上部消化管検査では前群の5.4%
(22/409通)に対して後群では5.1%(23/454通)と変
わらず($p=0.96$)、下部消化管検査では前群の19.4%
(7/36通)から後群では27.8%(10/26通)と、有意差
はない($p=0.17$)ものの、未読率の数値は上昇してい
た(図2)。

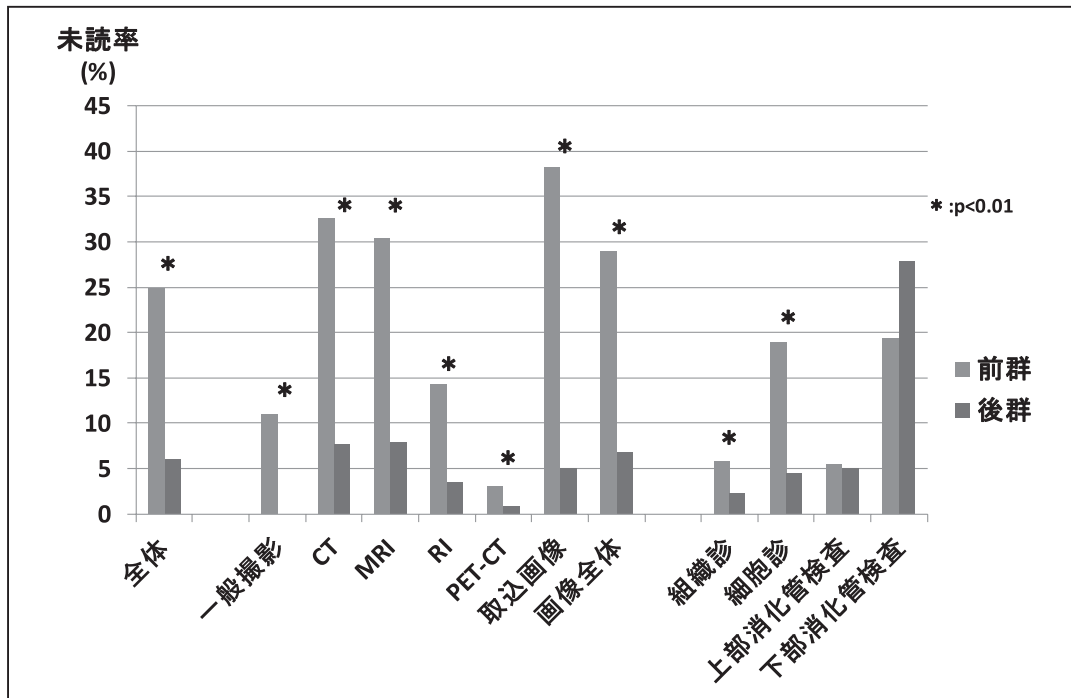


図2 検査項目別の未読率の推移

【考 察】

以前から検査を依頼した医師が読影レポートを確認していないことは医療安全上のリスクになることが知られている。一般的に医療安全上は検査後14日以内に読影レポートを確認することが望ましいとされ、当院でもこれに従い医療安全推進室の所属医師が14日を過ぎても確認されていなかったレポートを逐一閲覧している。レポートに悪性疾患を疑うと記載された症例では、検査を依頼した医師に連絡して患者説明がなされているかどうかを確認しているが、数が多いため、かなりの労力を要していた。

村中ら¹⁾は読影レポートに主治医「既読マーク」を入れる方法を報告し導入後に未読件数が減少したと述べている。また西川ら²⁾は、読影レポート開封状況の確認機能を付けることで未読率が低下したと報告している。しかし、いずれも最終的な未読率低下には効果的であるが、検査後どれくらいの期間で読影レポートが確認されたのかについては不明であった。今回は14日以内の未読率を低下させることを目的に8日後にメールで周知したところ、上部及び下部消化管検査以外では有意に未読率が低下した。上部及び下部消化管検査で未読率が変わらなかったのは消化器科医師が自分で診断するという特殊事情があると思われる。ま

た、この研究のあと当院では、未読レポートがある場合、電子カルテ上にデフォルト設定で毎日アラートが表示されるシステムを導入した。この方法により、さらに未読率が低下することが期待される。

今回の方法では8日後と14日後の時点での未読患者を検索することと、メールを送る作業が必要であった。また、未読率は6.0%まで低下したとはいえ、未読レポートが残っている。近本ら³⁾は、診断医に新規出現病変と急速増大病変を認めたレポートを抽出してもらって、医療の質・安全管理部と中央病歴室のスタッフが該当患者の診療録を開いて確認することが必須であると述べている。当院でも依然未読レポートの対応は医療安全推進室のスタッフに依存しており、システムのみでは解決できず、最終的には人の目による確認が必要である。

【結 語】

検査の8日後に、読影レポートが未読であることを医師に周知するシステムは検査後14日以内の未読率低下に有効であった。

文 献

- 1) 村中裕之, 三隅留美子, 山下 正ほか: 読影レポートの確認漏れを防ぐ「既読管理システム」の

- 構築：医療の質・安全学会誌, 2018; 13 Suppl: 376.
- 2) 西川彰則：【医療安全を高めるITのチカラ】ITツールが患者安全を支える 結果確認漏れ防止アラート機能導入による医療安全への取り組み
- 職員への意識改善なども含めて. 新医療2018; 45(6): 85-89.
- 3) 近本 亮, 藤末昂一郎, 田口由美子ほか：画像診断未読根絶から患者影響度ゼロへ. 医療の質・安全学会誌2019; 14Suppl: 363.